

第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子1回戦】 A球場(松山中央公園北) 第2試合 鳴教大附属中学校(徳島県) VS 新島学園中学校(群馬県)

鳴門教大附属中 攻守に持ち味発揮!!

新島学園中 全員ソフトで一矢報いる!



<鳴教大附属中 2塁打を打った高島選手 >



<新島学園中 力投する高橋投手 >

平成26年8月19日(火) 11:15~13:12 球審:神野 一塁:白石 二塁:近藤 三塁:後藤

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
鳴教大附属中学校(徳島県)	3	1	0	0	0	1	0			5
新島学園中学校(群馬県)	0	0	0	0	0	0	1			1

【バッテリー】 <先攻>(鳴) ○高島 宏司朗、笠井 俊史郎 - 立石 雄祐大

<後攻>(新) ●高橋 海人 - 齋藤 圭剛

【長 打】 <本塁打>

<三塁打>

<二塁打> 高島 宏司朗(鳴)

【戦 評】

1回の攻防が試合を左右した。両投手ともに立ち上がりに苦しむ中、先攻の鳴門教育大学附属中は、四球とエラー、ワイルドピッチで先制すると、5番八幡のセンター前ヒットで2点を加える。後攻の新島学園中も3四死球で1死満塁のチャンスを作るも、後続が倒れ、無得点に終わった。2回、6回にも得点を挙げた附属中は、守っては高島・笠井の継投で、新島学園中を封じた。新島学園中は劣勢にも声を掛け合い、抜群のチームワークで健闘した。最終回、全員で立ち上がって攻撃し、1番小野寺、2番倉澤の連打で意地の1点を挙げたのは見事だった。

【勝者インタビュー】

監督談

初戦ということで、少し動きが重かったが、うまく点がとれた。エースの球が荒れていたなので、早めの継投を行い、うまくいった。

主将談

チームが一つになって、良い試合ができました。もう少しタイムリーが出るようになれば、もっと勝てると思います。継投もうまくいったので、次の試合も勝ちたいです。

若人よ 蒼き四国で熱くなれ!